



眼科 白内障手術 日帰り可能・選定療養

多焦点眼内レンズで、“裸眼で見える”快適性

「視覚」が生活に及ぼす影響は大きく、視力の低下は、日常生活が不便になる上、読書や旅行などの楽しみも減り、思わぬケガも増える。高齢化に伴う白内障人口は増加の一途だが、医療技術や眼内レンズの性能の進歩により、快適な生活が送れるようになった。**白内障手術や網膜硝子体手術のエキスパート**、西の京病院眼科の伊藤 暁部長に話を伺った。

人の感覚で生活に大きく関わるのは「視覚」。自分の目に関心を持って大切にしましょう。“裸眼で見える”ことの利点は、生活のクオリティ向上と、災害時などの身の安全にもつながります。

眼科部長 **伊藤 暁** 医師 ITO SATORU

先生の健康法

週2回はジムで筋トレしているからか体脂肪は15%前半を維持中です。

白内障手術、最小の切開創 日帰り・難治性白内障にも対応

同院では、通常の白内障から水晶体脱臼の重症例まで対応。手術は**局所麻酔（目薬）**で、**傷口も約2ミリ**前後と**非常に小さい**。超音波で濁った水晶体を取りのぞいた後、眼内レンズを挿入する。その**時間はわずか10分**ぐらいで、日帰り手術か入院手術かは希望で選べる。日帰り・通院だと仕事などの生活環境を大きく変えずに治療ができるという。

適応可能かどうかは、網膜疾患など目の状態を精密にチェック、またレンズの種類も、患者が望む**見え方をシミュレーション**した上で手術の判断をする。

白内障手術
乱視矯正も乱視の度数幅が拡大し、多くの人の適用可能に。
レーシック手術（屈折矯正）を受けた人もOK。

一生モノの裸眼視力を回復 多焦点眼内レンズでQOLの向上

これまでは遠方が近方いずれかがよく見える単焦点眼内レンズを用いることが多かったが、近年は生活の質の向上のために**多焦点眼内レンズ**の装着が増えている。

多焦点眼内レンズとは、遠くと近くが同時にクリアに見える**2焦点レンズ**や遠中近のすべてが同時にクリアに見える**3焦点レンズ**がある。

視機能の衰え（アイフレイル）は日常生活の制限につながり、ひいては**健康寿命の短縮**にもつながる。自分の生活

のシーンに合わせたレンズを選ぶことが大切だ。

3焦点レンズ 2焦点レンズ 単焦点レンズ

老眼になる前の見え方に近い 距離によってはメガネが必要

約10mm

多焦点眼内レンズ

メガネにほぼ依存しない裸眼での生活が可能に♪

※乱視矯正用もあり

「多焦点レンズの選定療養」実施中 レンズの高性能化・従来の半額以下に

多焦点レンズは、**選定療養**が可能になり、費用面では種類によって**以前の半額以下**となった。

日常生活の快適性もとより、災害時やとつさの場合、メガネやコンタクトレンズの装着といった手間や不安は解消されることなど、検討の価値はありそうだ。

多焦点眼内レンズ

以前 片眼 約50万円
現在 **→半額!**
白内障手術 + 多焦点眼内レンズ (保険適用) (自己負担)

皆さんのアイフレイルのお悩み解消をサポート!

😊 目の健康から健やかな暮らしを 😊



診察日

月曜～金曜の午前
※午後は予約診療のみ



※アイフレイル…加齢に伴う目の衰えの上に、様々な外的ストレスが加わることによって目の機能が低下した状態

「目の教室(よろず相談室)」好評開催中!

— 白内障に関する勉強会&視力測定・目のお悩み相談 —

第1・4月曜 15:00～15:30

無料 予約不要 当日参加OK

眼科外来 (0742-35-7683) に
お問い合わせを

- ☑ 目がかすむ・ぼやける
- ☑ メガネが合わない
- ☑ まぶしい
- ☑ ものが二重三重に見える など

緑内障や黄斑変性、ドライアイなど、目に関するのなら何でも相談してみよう。